

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



心臓リハビリテーションチームの誕生

【特集】

リハビリテーション科に体成分分析装置
“InBody S10”が導入されました！！

- VOICE
- 医学シリーズ 糖尿病・内分泌内科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修日程表
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携室室長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード

リハビリテーション科に体成分分析装置 “InBody S10” が導入されました！！

今年の5月1日から当院に心臓リハビリテーション（以下、心リハ）を立ち上げ、体成分分析装置 InBody S10 (InBody) を導入しました。熊本県で InBody を使用している施設は 27 件あり、循環器やがん緩和治療、腎臓、消化器など様々な分野で利用されています。InBody は国内だけでも 8,000 施設以上に導入されており、その半数以上は当院のような病院・クリニックです。世界的にみても InBody は多くの国で使用されており、InBody を使用した論文が数多く発表されています。

InBody で何が分かるの？

体を構成する基本成分である、体水分・タンパク質・ミネラル・体脂肪を測定します。各成分の関係から全身の筋肉量・脂肪量、腕や脚などの部位別筋肉量・水分量、肥満指数 (BMI、体脂肪率)、体水分均衡、基礎代謝量、骨格筋指数などを分けて算出します。これらの項目から栄養状態、浮腫 (むくみ)、標準型・強靱型・隠れ肥満型などの身体タイプが分かり健康状態をより詳細に把握することができます。



InBody S10 本体

InBody は家庭用体組成計と何が違うの？

InBody と家庭用体組成計の大きな違いは「統計データによる測定値の補正」です。家庭用体組成計は測定値に年齢や性別による補正をしています。例えば、男性は女性より筋肉量が多い、若年者は高齢者より筋肉量が多いなどの傾向を体成分の算出に使用します。これに該当する人であれば測定の信頼性は高くなりますが、筋肉量が多い女性や痩せ細った若年者など、異なる傾向を示す方では誤差が生じてしまいます。特に患者さまは体成分バランスが大きく崩れているため、このような補正が入っている体組成計では、正確に測定できません。InBody はこのような補正を一切使用していないので、どんな方でも体成分を測定することができます。

InBody は心リハでどのように活用されるの？

心リハを行って、筋肉量をどれくらい回復・維持・増加できているかを InBody で確認し、運動の内容を見直します。InBody の活用は、一人ひとりに合った運動メニュー作成の一助になります。InBody の分かりやすい結果用紙を見ると、患者さまも心リハの効果を実感でき、更なる動機づけ、意欲向上にも繋がると考えます。浮腫の指標である体水分均衡や体水分量が部位別に測定されるため、部位別の浮腫の程度を調べることができます。定期的に測定することで浮腫の改善・悪化を確認できます。

リハビリテーション科
理学療法士
みわ えいたろう
三輪 栄太郎



測定場面

※資料・画像提供：株式会社インボディ・ジャパン

VOICE

登録医の声



もりの歯科
クリニック

もりの しげる
院長 森野 茂



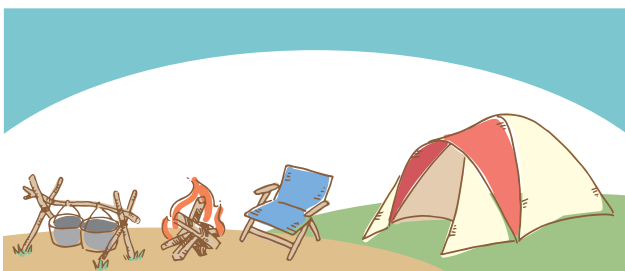
◆貴院のアピールをお願いします

当院は開業当初より歯周病、インプラント、矯正歯科などの専門医が連携することで的確な治療と診断ができる体制を構築してまいりました。小児から高齢の方まで幅広く対応できるようになり、最近では、地域より訪問診療の依頼も増えるようになりました。患者さまに応じた最新の医療が提供できるようにスタッフ一同、日々精進しております。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

熊本の雄大な自然に魅了されてから、アウトドアに夢中になっております。

研修会などない週末は、アウトドアギアを揃えて山へ海へと子供を連れてくりだします。自然と焚き火を見ながら食べる食事や自分で豆を挽いて飲むコーヒーは最高で、マイナスイオンで癒されています。お勧めスポットは市内からも近く、夏場は涼しい南阿蘇です。



◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

日頃より救急及び紹介患者さまを快く引き受けていただき感謝しております。

また、研修センターで行われる医歯連携セミナーや救急蘇生研修会に毎回参加させて頂いておりますが、貴院の先生方より様々な疾患や最新の医療情報について丁寧に教えて頂き、日頃の診療に大変活かされております。今後ともよろしくお願い致します。

【診療科目】

歯科・口腔外科・小児歯科・矯正歯科

【診療受付時間】

月～土 9:00～13:00
月～金 14:30～18:30
土曜午後 14:00～17:00

【休診日】

日曜・祝日

【住所】

〒860-0082 熊本市西区池田 2-1-82

【TEL】

096-352-8241





No. 265

医学シリーズ

糖尿病・内分泌内科 (No.10)

最近のトピックス

高血糖緊急症

国立病院機構熊本医療センター
糖尿病・内分泌内科部長

にしかわ たけし
西川 武志



聞きなれない言葉かもしれません。「高血糖緊急症」は糖尿病患者さまに発症する緊急で入院治療を必要とする病気です。恐ろしいことですが、高血糖緊急症を発症されると、意識がもうろうとなったり、なくなったりします。放置すると生命に危険が生じます。

高血糖緊急症には、これも聞きなれない言葉と思いますが、「糖尿病性ケトアシドーシス」と「高血糖高浸透圧症候群」という2つの病気が含まれます。1922年まで、糖尿病性ケトアシドーシスは不治の病でした。死亡率は100%だったのです。1921年にカナダのバンティング博士がインスリンを発見し、インスリン治療が行えるようになり、糖尿病性ケトアシドーシスで亡くなる人はずいぶん少なくなりました。しかし、今でも糖尿病性ケトアシドーシスを発症されると2.5～9%の患者さまは亡くなっています。高血糖高浸透圧症候群は高血糖に強い脱水を伴う病気です。糖尿病性ケトアシドーシスよりさらに死亡率が高く、発症すると今でも10%以上の方が亡くなっています。

“発症予防が一番です。ではどうすれば予防できるのでしょうか。”

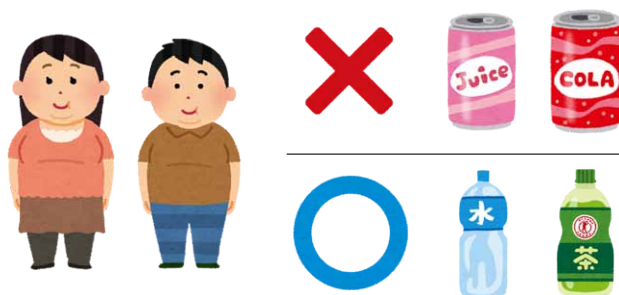
糖尿病性ケトアシドーシスの発症誘因には色々あります。多いものとして、インスリン治療中の患者さまがインスリン治療を自己判断でやめてしまうことがあげられます。主治医の先生の指示を守り、勝手にインスリン治療を中断しないだけで、糖尿病性ケトアシドーシスの発症はかなり防げます。

しかし、それですべての高血糖緊急症は防げません。意外なことかもしれませんが、高血糖緊急症の発症はこれまで糖尿病と診断されていない方にも多く見られます。高血糖緊急症の発症を契機に、初めて自分が糖尿病であるということに気づかれる方がおられるのです。注意してみますと前駆症状があることも多いようです。のどの渇き、夜間尿、体重減

少などです。実はこれらの症状は既に重症の糖尿病を発症していることを示していることがあるのです。放っておいた、気付かなかった糖尿病が悪化して、高血糖緊急症の発症につながることもあるのです。

“どうすれば良いのでしょうか。”

市町村や会社の健診などを受けてください。特に、肥満の方、家族に糖尿病患者のいる方、妊娠糖尿病の既往のある方、「少し血糖が高めです」などと言われたことがある方は要注意です。早めに糖尿病の診断を受けることで、高血糖緊急症をはじめとした糖尿病による障害を防ぐことができます。そして最後にもう一つ。のどが渇いたときは水かお茶を飲んでください。ジュースやコーラは血糖をさらに上昇させ、高血糖緊急症発症の危険性をより高めてしまいます。



診療科紹介

糖尿病内分泌内科では代謝・内分泌疾患の専門診療を行っています。代表的な代謝疾患として糖尿病、脂質異常症があり、内分泌疾患として甲状腺疾患、下垂体疾患（先端巨大症・クッシング病・尿崩症など）、副腎疾患（副腎腫瘍・クッシング症候群・原発性アルドステロン症など）があります。

糖尿病教育入院では、糖尿病合併症の詳しい検査を行うとともに、各職種が担当する糖尿病教室も行っていきますので、糖尿病の基本である「自己管理のための知識と技術」を短期間で習得できます。妊娠糖尿病の診療や2次性高血圧症の原因を調べる検査入院も積極的に行っています。また慢性疾患の診療だけでなく、高血糖緊急症や電解質異常などの救急疾患にも対応しています。



治験依頼者表彰受賞



診療部長
ふじもと かずてる
藤本 和輝



今回、国際的に行われている臨床治験『急性冠症候群患者を対象とした CSL112 の有効性及び安全性を検討する多施設共同二重盲検無作為化プラセボ対照並行群間比較第 3 相臨床試験』に参加していましたが、当院が日本で最初の症例を登録しましたので、表彰されました。

この治験は、急性心筋梗塞を対象に、高比重リポ蛋白 (HDL) の主要な機能成分であるアポリポ 蛋白 A-1(アポ A-1) を含む新規製剤(CSL112) で、多施設共同、二重盲検、無作為化、プラセボ対照、並行群間比較する第 3 相臨床試験です。

急性心筋梗塞の急性から回復した後も、心血管イベントリスクが高い状態が継続します。心筋梗塞患者の予後に重要な改善をもたらした薬物療法や標準治療法の進歩にもかかわらず、再発性心血管イベントのリスクは高い状態です。CSL112 の投与により、心筋梗塞患者のコレステロール引き抜き能が増加することが確認されていますので、脂質系を改善することで、心血管イベントリスクが低下することが期待されています。

当院では年間約 180 例の急性心筋梗塞のかたが入院しています。新しい治療法の確立のため、今後も積極的に治験に登録していきます。



入館時の検温、面会制限について

小児科部長 感染制御室長
みづかみ ともゆき
水上 智之



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、当院は入院患者さまへの面会制限を強化しています。面会は、病状説明(検査説明)のかた、手術の付き添いのかた、入退院の付き添いのかた、医師許可による「許可証」をお持ちのかたのみとさせていただきます。また面会は成人のご家族(1名)のみです。中学生以下の面会をご遠慮下さい。入院患者さまへの荷物受け渡しは、14時から17時の間に成人のご家族1名で、5分以内でお願いします。

入館の際は必ずマスクをご着用いただき、体温測定および体調チェックの記入をお願いします。入館者には確認証シールを肩にお付けします。

また正面玄関を含む各出入口には非接触型検温モニタを設置しています。外来患者さま、職員などで入館前に体温測定していないかたは、ここで体温を確認して入館してください。感染拡大防止のため、皆様のご協力をお願いします。

研修医レポート

臨床研修医

茅嶋 理絵
かやしま りえ



こんにちは。研修医1年目の茅嶋理絵と申します。この春熊本大学を卒業し、4月から初期臨床研修医として熊本医療センターに入職いたしました。

私の研修は循環器内科からスタートしました。循環器内科は緊急性の高い疾患が多く、1分1秒を争う現場のスピード感に、初めは圧倒されてばかりでした。しかし、上級医の先生方の診療や手技を手伝わせていただく中でだんだんと循環器を面白く感じる様になりました。研修のスタートが循環器内科と決まった時は、身の引き締まる思いと同時に一抹の不安もありましたが、指導医の先生をはじめ温かい先生方のご指導のお陰で、非常に充実した2ヶ月間を送ることができたと思います。

次にローテートした救急科では、救急搬送された方のファーストタッチを行い、その場で瞬時に緊急度と状態を把握し、適切な検査を考える必要がありました。まず、身体診察のやり方や、電子カルテでの検査オーダーの方法を習得することに苦労しました。子供や女性の方に対する被ばくリスクのある検査や、外傷の患者さまにどこまでの画像検査を行うか、判断の悩ましい場面もありましたが、救急科の先生方に手取り足取り教えて頂き、大変勉強になりました。救急外来では、看護師や検査技師の方にお尋ねする事も多々ありましたが、とても親切に教えて頂きました。スタッフの皆様が温かく見守ってくださるのを心強く感じ、当院が研修医にとって恵まれた環境であることを実感しました。

現在は産婦人科で研修させていただいています。当院は手術件数も多く、体力勝負な科であると痛感しております。回診の際、担当の患者さまとお話をしていく中で考えさせられることも多々あります。先生と話す患者さまの穏やかな表情を見て、自分も医師としての器量や人間力を身につけていけたらと思っています。

まだ駆け出し真っ只中ですが、医師として尊敬できる先生方と心優しいスタッフ、明るい同期に支えられながら研修生活を送っています。これからも様々な科を回り、ご指導いただく場面が沢山あると思います。今後とも精進して参りますので、どうかご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

臨床研修医

齋藤 菜々子
さいとう ななこ



こんにちは。研修医1年目の齋藤菜々子と申します。

久留米大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターにて初期臨床研修をさせていただいています。

私は4月に救急科から研修をスタートし消化器内科を経て現在外科を回らせていただいています。救急科では右も左も分からずあっという間に6週間が過ぎていました。コロナ渦中であり、例年より救急車の台数は少ないとのことでしたがはじめは救急車の音に戦々恐々とする毎日を送っていました。救急外来には重症から軽傷、外傷からcommon diseaseまで様々な患者さまがいらっしゃいます。多くの疾患の初期対応を経験することができ、学びの多い6週間でした。

2ターン目で回らせていただいた消化器内科では、初めて担

当医として入院患者さまを持たせていただきました。内視鏡や腹水穿刺、ERCPなど多くの検査に携わらせていただき、また腹部エコー外来では毎日ファーストタッチで多くの患者さまの検査をさせていただき、忙しくも充実した毎日でした。

現在回らせていただいている外科では実際に手術に入りカメラや縫合など手技を学ぶことと同時に、術後管理等を勉強させていただいています。先生方の丁寧な御指導のもと、2週間目にしてやっと縫合手技にも慣れてきたように思います。残りの研修でも少しでも多くのことを吸収し、成長できればと思います。

初めはカルテの書き方からオーダーの仕方まで、わからないことが多く、たくさんの方々にご迷惑をお掛けしてしまいましたが、研修が始まって約4か月が経ち指導医の先生はじめ様々なコメディカルの方々支えとご指導のもと、幾分か慣れてきたように思います。

今後とも多くの場面でご迷惑をお掛けするとは思いますが、ご指導いただいたことを一つ一つ身につけ精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

2020
10月

研修日程表

研修日程表への問い合わせはこちら
 国立病院機構熊本医療センター
 地域医療研修センター（096）353-3515（直通）

研修センター
 QRコード▶



※二の丸モーニングセミナーにつきまして、詳細はホームページ（<https://kumamoto.hosp.go.jp>）をご参照ください。

10月	研修センターホール	研 修 室
1日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー 18:30~20:00 第103回 特別講演 [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定] 「実は多い? 日常診療に潜むアミロイドーシス」 熊本大学大学院生命科学研究部脳神経内科学教授 植田 光晴 先生	
2日(金)		
3日(土)		
4日(日)		
5日(月)		
6日(火)		
7日(水)		
8日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー	
9日(金)		
10日(土)		
11日(日)		
12日(月)		
13日(火)		
14日(水)		
15日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー	
16日(金)		
17日(土)		
18日(日)		
19日(月)		19:00~20:00 第260回 月曜会 (内科症例検討会) (研修室2) [日本医師会生涯教育講座1.0単位認定]
20日(火)		
21日(水)		
22日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー	
23日(金)		
24日(土)	15:00~17:30 第35回 診断と治療 -最新の基礎公開講座- [Web配信あり] 「胆・膵疾患診療の進歩」 [日本医師会生涯教育講座2.5単位認定] 座長 豊田消化器外科医院 院長 豊田 徳明 先生 1. 内科的立場から 国立病院機構熊本医療センター消化器内科医長 石井 将太郎 2. 外科的立場から 国立病院機構熊本医療センター外科医長 美馬 浩介 3. 放射線科的立場から 国立病院機構熊本医療センター放射線科副部長 根岸 孝典 4. 胆・膵疾患の最近の話題 熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学講座特任助教 階子 俊平 先生	
25日(日)		
26日(月)		
27日(火)		19:00~21:00 小児科火曜会 (研修室1)
28日(水)	19:00~20:30 第140回 総合症例検討会 (CPC) [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定] 「健診での肝機能障害指摘25年後にWilson病の診断に至った50代男性」	
29日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー	
30日(金)		
31日(土)		

※新型コロナウイルスの影響で予定が変更になる場合がございます。
 最新の情報につきましては、ホームページでご確認をお願い致します。

患者さまについてのご相談は地域医療連携室直通電話をご利用ください。

地域医療連携室直通電話

096-353-6693

直通 FAX 096-323-7601

受付 平日 8:30 ~ 17:00

熊本医療センター
 地域医療連携室副室長

とみたか えつし
 富高 悦司



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565

096-353-6566

FAX
096-353-6563



国立病院機構
熊本医療センター
地域医療連携室室長

菊川 浩明

令和2年10月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 吉村 文孝 國友 耕太郎
	血液	河北 敏郎 平野 太一	原田 奈穂子 三井 土和	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃
	糖尿病・内分泌	西川 武志(午前新患) 西田 周平(午前再診)	西田 周平(午前新患) 西川 武志(午前再診)	西川 武志(午前新患) 橋本 章子(午前再診)	木下 博之(午前新患) 小林 由佳(午前再診)	橋本 章子(午前新患) 木下 博之(午前再診)
	呼吸器センター	(午前のみ) 名村 亮	(午前のみ) 小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)	(午前のみ) 小野 宏 (午前紹介のみ)原 英記	(午前のみ) 名村 亮	(午前のみ) 小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)
	感染症内科		(午前のみ)小野 宏	(午前のみ)小野 宏		(午前のみ)小野 宏
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	伊達 亮佑 (富田 正郎)	中村 朋文	松永 英士	富田 正郎
	腫瘍内科	境 健爾 三井 土和	境 健爾 榮 達智	境 健爾 磯部 博隆	境 健爾 三井 土和	境 健爾 榮 達智
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 上野 茂紀	杉 和洋 中田 成紀 東 哲生	杉 和洋 石井 将太郎 志茂田 美紀	杉 和洋 松山 太一 東 哲生	上野 茂紀 中田 成紀 馬見塚 大悟
	内視鏡	午前 中田 志茂田(東)	松山 馬見塚	松山 上野	中田 馬見塚 志茂田	石井 東(志茂田)
	午後	東 志茂田 馬見塚(中田)	石井 松山 志茂田 馬見塚	中田 東 上野(松山)	中田 上野 馬見塚(石井)	石井 松山 志茂田
腹部超音波	杉 東 馬見塚	石井 上野 志茂田	中田 東 馬見塚	石井 上野(志茂田)	杉 松山 志茂田	
心臓血管センター (循環器内科) (心臓血管外科)	診 察	藤本 和輝 白尾 友宏 日下 木村(新患)	田山 信至 大塚 康弘(隔週新患) 野津原 淳(隔週新患)	日下 裕章 松原 純一(新患)	大塚 康弘 野津原 淳 藤本 和輝(新患)	松原 純一 木村 優一 田山 信至(新患)
	手術日		岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実
精神・神経科	初めの方	山下 建昭	神野 哲平	担当医	大湖 一太	山下 建昭
	2回目からの方	担当医	山下 建昭		山下 建昭	橋本 聡
小児科	診察	水上 智之 吉田 敬伸	岡田 拓巳	水上 智之 岡田 拓巳	水上 智之	岡田 拓巳 吉田 敬伸
	免疫	水上 智之		水上 智之		
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美
外科		小澄 敬祐	水元 孝郎 井上 光弘	美馬 浩介	宮成 信友 井上 光弘	久保田 竜生
脳神経センター (脳神経外科) (脳神経内科)		大塚 忠弘 中川 隆志	手術日	大塚 忠弘 武末 吉広	中川 隆志	大塚 忠弘 宮崎 愛里
		幸崎 弥之助	小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元	幸崎 弥之助 小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 平井 泰博	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦
	午後	福元 哲也 福田 和昭 平井 泰博		前田 智 満瀬 葉介		中馬 東彦 宮崎 誠大
泌尿器科		前田 喜寛 鮫島 智洋	菊川 浩明 矢野 大輔 近浦 慶太	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘刃 晋吾 山中 達郎	菊川 浩明 矢野 大輔
産婦人科		高木 みか	西村 弘 山本 文子	山本 文子	高木 みか 山本 直	西村 弘 山本 直
感覚器センター (眼科)		榮木 大輔 木山 優 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂
感覚器センター (耳鼻咽喉科)		手術日	上村 尚樹 竹本 梨紗	手術日	担当医	上村 尚樹 竹本 梨紗
感覚器センター (皮膚科)	初診(紹介あり)	城野 剛充	牧野 公治	小林 温子	西 葉月	島田 秀一
	再診 (初診 無紹介)	城野 剛充 小林 温子	西 葉月 牧野 公治	島田 秀一 小林 温子	城野 剛充 西 葉月	牧野 公治 島田 秀一
形成外科		(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 前山 徹	(午後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 (自費診療) 前山 徹	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 前山 徹
放射線科	治療(予約制)	富高 悦司、松本 忠士				
	画像診断	吉松 俊治、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、根岸 孝典、柏木 寧、幸村 紘子				
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)		(午前のみ) 田中 健一 (麻酔相談)		(午前のみ) 森永 真矢 (麻酔相談)	
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆
歯科 口腔外科		中島 健、谷口 広祐、早川 真奈、中尾 美文			中川 文雄	
救命救急センター		原田 正公、北田 真己、櫻井 聖大、渋沢 崇行、清水 千華子 山田 周、橋本 聡、深水 浩之、松尾 悠史				宮内 大介
		國友 耕太郎		木村 文彦		
看護外来	ストーマ		認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師
	がん看護	専門看護師(午前)	専門看護師	専門看護師	専門看護師	専門看護師
薬剤師外来	移植後フォローアップ	専門看護師 他	専門看護師	専門看護師 他	専門看護師 他	専門看護師
	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師

(注)担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R2/10/1